

# 公 示

公示第48号

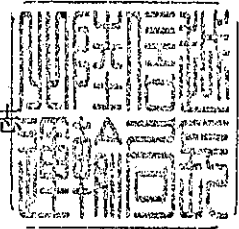
## 準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の需給状況の 判断結果について

平成26年1月27日付け公示「準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化の推進のために監督上必要となる措置等の実施について」に基づき、一般乗用旅客自動車運送事業の需給状況の判断結果を下記のとおり定め  
たので公示する。

なお、需給状況の判断結果の算定基礎数値は、別紙のとおりである。

令和4年8月30日

北陸信越運輸局長 平井 隆志



## 記

### 令和4年度における需給状況の判断結果

都道府県	営業区域名 (交通圏)	必要車両数 (両)	令和3年度末 車両数 (両)	増加可能車両数 (両)
新潟県	新潟交通圏	290	991	▲701
	長岡交通圏	96	279	▲183
	上越交通圏	60	151	▲91
	柏崎市A	24	61	▲37
	新発田市A	24	57	▲33
長野県	長野交通圏	108	624	▲516
	松本交通圏	93	383	▲290
	上田市A	19	86	▲67
	飯田市A	48	164	▲116
富山県	富山交通圏	78	323	▲245
	高岡・氷見交通圏	48	178	▲130
	砺波市B、南砺市	12	37	▲25
石川県	金沢交通圏	326	1,262	▲936
	南加賀交通圏	53	242	▲189

※上記「令和3年度末車両数」は、特定地域及び準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法第2条第9項に定める事業用自動車（個人タクシーを除く。）の数である。

### 附 則

本公示は、令和4年度の準特定地域における法人タクシー（一般乗用旅客自動車運送事業（1人1車制個人タクシーを除く。））の新規許可申請、条件解除の承認申請、営業区域の設定に係る事業計画変更認可申請、増車に係る事業計画変更認可申請、休車の解除に係る事業計画変更認可申請及び個人タクシーの新規許可申請について適用する。

(別紙)

## 1. 新潟県

### (1)新潟交通圏

#### 1. 輸送需要量の算定(過去5年間による総実車キロを基に最小二乗法により算定。以下、同じ。)

平成29年度 総実車キロ	平成30年度 総実車キロ	令和元年度 総実車キロ	令和2年度 総実車キロ	令和3年度 総実車キロ	輸送需要量
17,224,986	16,420,467	15,056,592	8,716,213	9,244,749	6,233,183

#### 2. 必要車両数の算定

必要車両数 $A \div (B \times C \div D) \div E \div F$	需要量 A	総走行キロ (前5年間平均) B	平成13年度 実車率 C	延べ実働車両数 (前5年間平均) D	E	実働率 F
290	6,233,183	33,965,278	0.42	215,991	365	0.90

### (2)長岡交通圏

#### 1. 輸送需要量の算定

平成29年度 総実車キロ	平成30年度 総実車キロ	令和元年度 総実車キロ	令和2年度 総実車キロ	令和3年度 総実車キロ	輸送需要量
5,100,747	4,744,745	4,552,689	2,534,914	2,555,823	1,707,880

#### 2. 必要車両数の算定

必要車両数 $A \div (B \times C \div D) \div E \div F$	輸送需要量 A	総走行キロ (前5年間平均) B	平成13年度 実車率 C	延べ実働車両数 (前5年間平均) D	E	実働率 F
96	1,707,880	8,911,966	0.45	74,841	365	0.90

### (3)上越交通圏

#### 1. 輸送需要量の算定

平成29年度 総実車キロ	平成30年度 総実車キロ	令和元年度 総実車キロ	令和2年度 総実車キロ	令和3年度 総実車キロ	輸送需要量
2,975,006	2,853,896	2,622,579	1,581,651	1,675,762	1,180,559

#### 2. 必要車両数の算定

必要車両数 $A \div (B \times C \div D) \div E \div F$	輸送需要量 A	総走行キロ (前5年間平均) B	平成13年度 実車率 C	延べ実働車両数 (前5年間平均) D	E	実働率 F
60	1,180,559	5,477,651	0.48	43,561	365	0.90

#### (4) 柏崎市A

##### 1. 輸送需要量の算定

平成29年度 総実車キロ	平成30年度 総実車キロ	令和元年度 総実車キロ	令和2年度 総実車キロ	令和3年度 総実車キロ	輸送需要量
1,309,308	1,279,525	1,166,974	756,497	679,994	503,963

##### 2. 必要車両数の算定

必要車両数 $A \div (B \times C \div D) \div E \div F$	需要量 A	総走行キロ (前5年間平均) B	平成13年度 実車率 C	延べ実働車両数 (前5年間平均) D	E	実働率 F
24	503,963	2,238,645	0.48	17,299	365	0.90

#### (5) 新発田市A

##### 1. 輸送需要量の算定

平成29年度 総実車キロ	平成30年度 総実車キロ	令和元年度 総実車キロ	令和2年度 総実車キロ	令和3年度 総実車キロ	輸送需要量
982,491	930,429	892,382	573,431	566,183	432,099

##### 2. 必要車両数の算定

必要車両数 $A \div (B \times C \div D) \div E \div F$	需要量 A	総走行キロ (前5年間平均) B	平成13年度 実車率 C	延べ実働車両数 (前5年間平均) D	E	実働率 F
24	432,099	1,978,215	0.45	16,280	365	0.90

※「実車率」の数値は、小数点第3位で四捨五入して記載しているため、必ずしも計算結果は一致しないことがある。

## 2. 長野県

## (1) 長野交通圏

## 1. 輸送需要量の算定(過去5年間による総実車キロを基に最小二乗法により算定。以下、同じ。)

平成29年度 総実車キロ	平成30年度 総実車キロ	令和元年度 総実車キロ	令和2年度 総実車キロ	令和3年度 総実車キロ	輸送需要量
7,653,211	7,318,274	6,631,645	3,148,850	3,417,939	1,841,993

## 2. 必要車両数の算定

必要車両数 $A \div (B \times C \div D) \div E \div F$	輸送需要量 A	総走行キロ (前5年間平均) B	平成13年度 実車率 C	延べ実働車両数 (前5年間平均) D	E	実働率 F
108	1,841,993	14,158,956	0.45	124,372	365	0.90

## (2) 松本交通圏

## 1. 輸送需要量の算定

平成29年度 総実車キロ	平成30年度 総実車キロ	令和元年度 総実車キロ	令和2年度 総実車キロ	令和3年度 総実車キロ	輸送需要量
6,337,384	5,967,148	5,477,416	2,628,413	2,808,195	1,524,577

## 2. 必要車両数の算定

必要車両数 $A \div (B \times C \div D) \div E \div F$	輸送需要量 A	総走行キロ (前5年間平均) B	平成13年度 実車率 C	延べ実働車両数 (前5年間平均) D	E	実働率 F
93	1,524,577	11,161,171	0.45	102,091	365	0.90

## (3) 上田市A

## 1. 輸送需要量の算定

平成29年度 総実車キロ	平成30年度 総実車キロ	令和元年度 総実車キロ	令和2年度 総実車キロ	令和3年度 総実車キロ	輸送需要量
1,375,015	1,347,815	1,247,996	574,801	657,336	378,081

## 2. 必要車両数の算定

必要車両数 $A \div (B \times C \div D) \div E \div F$	輸送需要量 A	総走行キロ (前5年間平均) B	平成13年度 実車率 C	延べ実働車両数 (前5年間平均) D	E	実働率 F
19	378,081	2,341,060	0.48	18,810	365	0.90

## (4) 飯田市A

## 1. 輸送需要量の算定

平成29年度 総実車キロ	平成30年度 総実車キロ	令和元年度 総実車キロ	令和2年度 総実車キロ	令和3年度 総実車キロ	輸送需要量
1,886,917	1,967,077	1,792,939	1,000,374	1,068,364	761,992

## 2. 必要車両数の算定

必要車両数 $A \div (B \times C \div D) \div E \div F$	輸送需要量 A	総走行キロ (前5年間平均) B	平成13年度 実車率 C	延べ実働車両数 (前5年間平均) D	E	実働率 F
48	761,992	3,771,237	0.43	34,024	365	0.90

※「実車率」の数値は、小数点第3位で四捨五入して記載しているため、必ずしも計算結果は一致しないことがある。

## 3. 富山県

## (1) 富山交通圏

## 1. 輸送需要量の算定(過去5年間による総実車キロを基に最小二乗法により算定。以下、同じ。)

平成29年度 総実車キロ	平成30年度 総実車キロ	令和元年度 総実車キロ	令和2年度 総実車キロ	令和3年度 総実車キロ	輸送需要量
5,817,226	5,900,686	5,036,170	2,623,233	2,678,998	1,545,090

## 2. 必要車両数の算定

必要車両数 $A \div (B \times C \div D) \div E \div F$	輸送需要量 A	総走行キロ (前5年間平均) B	平成13年度 実車率 C	延べ実働車両数 (前5年間平均) D	E	実働率 F
78	1,545,090	10,116,262	0.49	83,165	365	0.90

## (2) 高岡・氷見交通圏

## 1. 輸送需要量の算定

平成29年度 総実車キロ	平成30年度 総実車キロ	令和元年度 総実車キロ	令和2年度 総実車キロ	令和3年度 総実車キロ	輸送需要量
2,820,245	2,638,572	2,386,599	1,300,072	1,332,898	801,719

## 2. 必要車両数の算定

必要車両数 $A \div (B \times C \div D) \div E \div F$	輸送需要量 A	総走行キロ (前5年間平均) B	平成13年度 実車率 C	延べ実働車両数 (前5年間平均) D	E	実働率 F
48	801,719	4,737,766	0.47	44,328	365	0.90

## (3) 砺波市B、南砺市

## 1. 輸送需要量の算定

平成29年度 総実車キロ	平成30年度 総実車キロ	令和元年度 総実車キロ	令和2年度 総実車キロ	令和3年度 総実車キロ	輸送需要量
357,118	330,887	318,184	191,610	198,908	142,632

## 2. 必要車両数の算定

必要車両数 $A \div (B \times C \div D) \div E \div F$	輸送需要量 A	総走行キロ (前5年間平均) B	平成13年度 実車率 C	延べ実働車両数 (前5年間平均) D	E	実働率 F
12	142,632	665,204	0.46	9,124	365	0.90

※「実車率」の数値は、小数点第3位で四捨五入して記載しているため、必ずしも計算結果は一致しないことがある。

## 4. 石川県

## (1) 金沢交通圏

## 1. 輸送需要量の算定(過去5年間による総実車キロを基に最小二乗法により算定。以下、同じ。)

平成29年度 総実車キロ	平成30年度 総実車キロ	令和元年度 総実車キロ	令和2年度 総実車キロ	令和3年度 総実車キロ	輸送需要量
18,776,034	17,789,320	16,442,919	8,697,663	8,940,783	5,500,696

## 2. 必要車両数の算定

必要車両数 $A \div (B \times C \div D) \div E \div F$	輸送需要量 A	総走行キロ (前5年間平均) B	平成13年度 実車率 C	延べ実働車両数 (前5年間平均) D	E	実働率 F
326	5,500,696	34,635,448	0.39	265,806	365	0.90

## (2) 南加賀交通圏

## 1. 輸送需要量の算定

平成29年度 総実車キロ	平成30年度 総実車キロ	令和元年度 総実車キロ	令和2年度 総実車キロ	令和3年度 総実車キロ	輸送需要量
3,354,501	3,167,279	2,810,070	1,559,023	1,710,960	1,051,765

## 2. 必要車両数の算定

必要車両数 $A \div (B \times C \div D) \div E \div F$	輸送需要量 A	総走行キロ (前5年間平均) B	平成13年度 実車率 C	延べ実働車両数 (前5年間平均) D	E	実働率 F
53	1,051,765	6,660,636	0.43	47,398	365	0.90

※「実車率」の数値は、小数点第3位で四捨五入して記載しているため、必ずしも計算結果は一致しないことがある。